

篠田桃紅さん作の壁画「泉」を公開します！

墨を使った抽象美術家として国際的に活躍されている篠田桃紅さんの壁画が、市役所4階の特別応接室に設置されています。

このたび、一般公開を行いますので、是非ご覧ください。

■作品名

「泉」(縦2.5m、横7.0m)

昭和41年7月、市庁舎の完成に合わせて設置

■公開日時

6月8日(日)、22日(日)、7月6日(日)、20日(日)、8月10日(日)、24日(日)

いずれも10時～16時

※平日の見学を希望する場合は、お問い合わせください(問合せ先 管財課 TEL055-934-4714)。

■場所

市役所4階 特別応接室 (直接正面玄関へお越し下さい。職員がご案内します。)

■対象

どなたでも

■篠田桃紅さんプロフィール

大正2年中国に生まれ、幼少から書を学ぶ。戦後、海外で個展を開催し、国際的に高い評価を受ける。主な作品に、東京の増上寺本堂や在米日本大使館の壁画などがあり、現在も国内外で個展を開催するなど精力的に活動している。



篠田桃紅画伯 墨象「泉」

墨象（ぼくしょう）とは、前衛書道の一種で、漢字から受けるイメージを自由に膨らませ、和紙に墨と筆で文字を自由な形で書く創作で、書法に捕らわれず絵画表現として描かれたものです。

本作は、大きさが縦 2.5m 横 7.0mあり、銀箔の上に墨で描いたもので、昭和 41 年 7 月に市庁舎の完成に合わせて、この特別応接室の壁面に設置されたものです。



■篠田桃紅（しのだ・とうこう）さんプロフィール

1913 年（大正 2 年）中国・大連生まれ。幼いころから書を学び、戦後、創作活動を再開、その作品は既成の書道にとらわれない墨を使った抽象芸術へと移行していく。1956 年（昭和 31 年）から 2 年間、ニューヨークを拠点に全米、ヨーロッパ各地で個展を開催し、第 2 次世界大戦後、墨を使った抽象美術家としていち早く国際的に高い評価を受ける。帰国後もレリーフ・壁画などの建築物に関わる大作を手がける一方、版画・題字・随筆などさまざまな分野に活動を広げていった。代表作に東京の増上寺本堂や在米日本大使館の壁画がある。京都御所や大英博物館など多くの作品が、国内外の美術館や公共施設に収蔵されている。現在も国内外において個展を開催し、精力的に創作活動をおこなっている。

■その他主な作品展示先

- ・岐阜現代美術館（岐阜県関市・鍋屋バイテック関工園内）
- ・関市立篠田桃紅美術空間（岐阜県関市・関市役所庁舎内）
- ・篠田桃紅作品館（新潟県新潟市中央区）
- ・吉島家住宅（岐阜県高山市）